田子倉湖
水辺の自然マップ

田子倉の動物

・カモシカ
・ツキノワグマ
・ニホンザル
・マミ（アナグマ）
・タヌキ
・ハクビシン

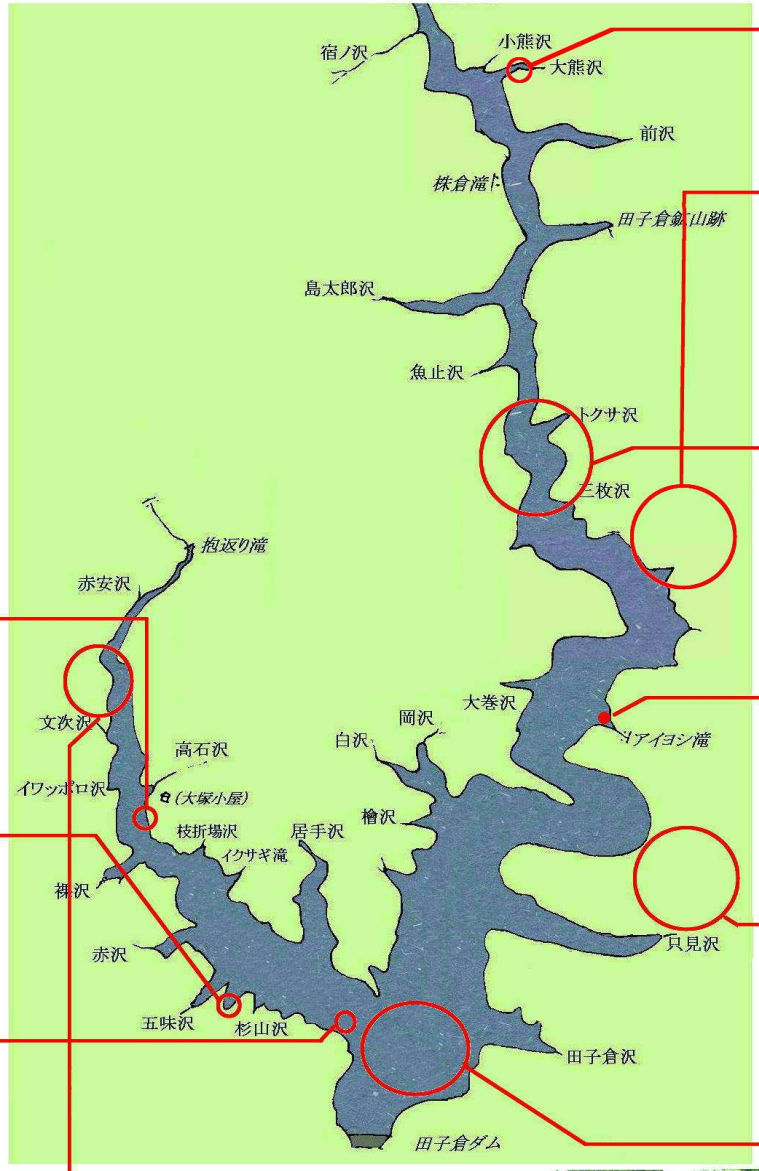
田子倉の鳥

・イワヌシ
・オオタカ
・クマタカ
・サシバ
・ノスリ
・イヌワシ
・ハヤブサ
・カヤセミ
・ヤマセミ
・アカマツウビン
・ヤマツウビン
・キツツキ

田子倉の木

・ブナ
・ナラ
・ミズナラ
・カエデ
・アカマツ
・クロマツ
・カエデ
・チシャ
・ウルシ

※田子倉のブナは世界遺産級。
ブナは加工しにくい材質で、
主にパルプ材として紙の原料に利用される。
昭和３０年代初期、木材需要に応えるため、
国は木材として利用しにくいブナの大規模な伐採を行い、
その代わりに、価値の高いスギなどの針葉樹を
積極的に植樹した。
その結果、ブナの高い保水力が森から失われ、
各地で土砂災害が多発することとなってしまった。
近年は、森林の生態系が重要視され、
ブナ林保護の運動が各地で高まっている。



天然のイワナやヤマメが多く生息する
大熊沢は、真夏でも非常に水温が低く
その水は驚くほどの透明度を誇る。

アバランチシュート

雪崩の浸食によって、
岩壁がU字型に削り取られた地形。
アルプス山脈などで多く見られるが、
只見のような標高の低い地で見られる
のは珍しい。

この付近に見られる白っぽい岩石は
珊瑚の名残と言われている。
それは、太古の昔この辺りが
海の中だったことの証拠である。

この滝は
船でなければ
見ることが出来ない。

上陸ポイント

上陸ポイント

只見三山を一望できるポイント

会津朝日岳
標高１６２４ｍ

蒲生岳
標高８２８ｍ

浅草岳
標高１５８６ｍ

浅草岳を望む。
ここから見える
平石山の裏側には
「沼の平」という
世界遺産白神山地を凌ぐ
高品質のブナ原生林が広がる。

昭和３０年以前には、この辺りに
約５０戸２９０人の集落があった。

世界遺産候補地として、
河野昭一京大名誉教授が
調査に立ち入ったポイント。
ブナの原生林が広がる。

只見町商工会青年部